

- ボートを漕ぎたくなったら、アダプティブローイング協会に相談してみましょう。

### 1 日本パラローイング協会

●NPO日本パラローイング協会（略称：JPRA。Japan Para-Rowing Association）は、障害者のローイングを支援・統括する団体で、2006年に設立されたときは日本アダプティブローイング協会という名前でしたが、競技種目名の変更に伴い、2013年に改名しました。（公社）日本ボート協会、（公財）日本障害者スポーツ協会およびその内部組織である日本パラリンピック委員会に加盟し、日本の障害者ロウイングを支援する公的団体です。

HP：[http://www.e-jaa.jp/index\\_pc.htm](http://www.e-jaa.jp/index_pc.htm)                                  j a a @ e - j a a . j p

住所：〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-28-10

電話：03-6912-4300、FAX：03-6912-4301

- 日本パラローイング協会の主要な事業の一つとして、パラローイングの世界選手権やパラリンピックのために、日本代表選手を育成、選考、派遣しています。

### 2 都道府県のパラローイング協会（アダプティブローイング協会）

●日本パラローイング協会に登録され、また各都道府県ボート協会の所轄、登録または加盟する組織として各都道府県単位のパラローイング協会（アダプティブボート協会）があります。

●もしあなたが、自身のパラロウイングを展開したい、地域のパラローイングに参加したいときは、まず日本パラローイング協会に問い合わせ、各都道府県のパラローイング協会を紹介してもらうことをお勧めします。

●残念ながら、地域のパラロウイングの活動レベルは、まだ様々であり、ほとんど活動実態のない協会・地域のほうが多いかもしれません。さらに、パラロウイングの支援経験がないゆえに、遠まわしに敬遠される可能性もありえます。しかし、地域にはきっと、パラロウイングに理解を示し、希望者がいるのであれば積極的に支援を惜しまない人もいます。あきらめずに良き支援者をさがりあてるべく、がんばってください。場合によっては、隣県の水域も探していきましょう。

### 3 事例： 広島県アダプティブローイング協会

●広島県では、複数の障害者（上肢の障害および視覚障害を持つ人たち）によって、広島県アダプティブローイング協会が活動を開始しています。前述の2007年ミュンヘン大会には、1名が代表入りしました。現在、広島県広島市太田川水域で、数名が精力的に活動し、国内代表選手入り～パラリンピックを目指して活動しています。活動を、地域の社会人、大学、高校のボートクラブも支援しています。

●滋賀県では、2013年末に、琵琶湖パラローイングクラブが活動を始めました。2014年始めの段階では、肢体障害者が主なメンバーですが、視覚障害者の方で、ロウイングを始めてみたい方は、ぜひコンタクトをとってみてください。（連絡先：掲載調整中）